

# 2024 年度スタート!

今年度も、蒜山校地への変わらぬご支援をお願いいたします!

## EVENT

### ●入学式～ようこそ蒜校へ!～

蒜山校地では、4月9日(火)に入学式を行いました。今年は蒜山校地に新しく18名の生徒が入学しました。元気に過ごしてほしいと思います。(明村)



## EVENT

### ●新任式・転退任式

令和6年4月8日、年度末の人事異動により本校地に着任された先生方の新任式が、4月12日には転退任式が行われました。今年度の異動は次の通りです。

#### 【転出】

	武村 克彦	副校長 (県立高梁城南高校へ)
地歴公民	竹内 宏和	先生 (県立津山東高校へ)
家庭科	竹村 美輪	先生 (県立瀬戸南高校へ)
保健体育科	樋木 悠介	先生 (私立滋慶学園へ)
事務室	金平 幸二	総括副参事 (県立勝山高校へ)

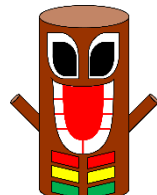
#### 【転入】

	吉田 裕幸	副校長 (県立瀬戸高校より)
地歴公民	河本 亮二	先生 (県立真庭高校久世校地より)
家庭科	松林 鈴奈	先生 (新採用)
保健体育科	水嶋 利玖	先生 (新採用)
数学科	岡田 誠	先生 (新採用)
事務室	坂口 裕一	総括副参事 (県立津山高校より)



勝山高校蒜山校地  
学校新聞

ひるこう  
タイムズ



第245号 R6.4.25

毎月25日発行

勝山高校蒜山校地 探究・情報課

Katuyama-hiruzen@pref.okayama.jp

### 蒜校生がりポート!

ひるこうタイムズ記者  
(取材・撮影・記事執筆)  
蒜山ABC部(文化部)

1年生:

2年生:林田・高橋

3年生:明村

※ ●は生徒、●は教員担当の記事

### 行事予定

#### 4月

26日(金) 新入生研修

(1年生・@はにわの森)

30日(火) 休業日(8/26振替)

#### 5月

1・2日 休業日

(8/27・28振替)

8日(水) 耳鼻科検診

9日(木) 春季球技大会

(雨天時は13日に延期)

10日(金) 心電図・X線検査

(1年生・6限)

13日(月) 第2回生徒評議員会

16日(木) 歯科検診

尿検査2次(該当者)

20日(月) PTA 役員会

21日(火) 午前中授業

22日(水)~24日(金) 中間考査

24日(金) 生徒総会

※行事予定は、諸事情により変更・追加されることがあります。ご了承ください。

# ●転任された先生方からのメッセージ

## 武村 克彦 副校長

令和4年4月～令和6年3月（2年間のご勤務）



### ①蒜校の思い出

令和5年1月25日の大雪と雪かきです。当日から2日間は生徒も休みになり、一生懸命先生方とスノーラーを使って雪かきをしたことです。生徒玄関付近で機械が埋まって、二進も三進も行かなくなって、思わず泣けてきたことを思い出します。

### ②挑戦したいこと

少しでも健康を維持するために歩くようにしています。今は5,000歩ですが、夏までには1万歩を目指します。今度の学校は広いので結構歩数を稼げます。(・;) )

### ③蒜校生へのメッセージ

今は暗くても、一歩進めば景色は変わります。とにかく前へ進んでいきましょう。明日のために、未来のために、いまの自分があるのです。やってみましょう。

## 竹村 美輪 先生

令和3年4月～令和6年3月  
（3年間のご勤務）



### ①蒜校の思い出

日々の関わりです。家庭科は2時間連続の授業が多く、休み時間に生徒とたくさん話ができたと思い出に残っています。

### ②挑戦したいこと

ソフトテニスです。経験のないソフトテニス部の顧問になったので、知り合いの経験者に教えてもらっています。安定した球だしが出来るようになります。

### ③蒜校生へのメッセージ

自分の力だけではどうにもならない時は周りの人を頼ること。諦めないために「助けて」と言うこと。多くのことに挑戦し、蒜校に通ったからできた、蒜校に通ったから自信がついたということを増やして行って下さい。3年間ありがとう！

## 櫛木 悠介 先生

令和3年4月～令和6年3月  
（3年間のご勤務）



### ①蒜校の思い出

みんなで協力して作り上げたものは素晴らしかったし、みんな全力で取り組んでいた姿が印象的！

### ②挑戦したいこと

剣道の指導で結果を残すこと！自分の試合でも結果を残すこと！

### ③蒜校生へのメッセージ

みんな何事にも全力で取り組んで、明るく楽しい学校を作り上げて下さい。また時間があればみんなに会いに行きます！

## 竹内 宏和 先生

平成29年4月～令和6年3月（7年間のご勤務）



### ①蒜校の思い出

7年間の在籍期間でいくつも思い出深い出来事がありましたが、なかでも印象に残っているのは、令和3年度に津山への「修学旅行」を実現したことです。

当時、新型コロナウイルスの感染拡大で東京への修学旅行を断念せざるを得ませんでした。代わりに近県へバス旅行などを考えましたがわずか7名のクラスでは、費用面での負担が大きく困難でした。そんな中で実現できたのが、すべて公共交通機関を使って、津山まなびの鉄道館の見学、津山名物ホルモンうどんを食べ、城東地区の歴史的町並みや鶴山公園をめぐる旅でした。

コロナ禍により学校生活も大きな制約を余儀なくされた時期で、なんとなく世の中全体が息苦しい雰囲気がありました。そんな中でも、できる限り思い出に残る行事ができないかと、生徒や教員で知恵を絞ってきました。いい意味で“思いつき”が現実になってしまふところが少人数の蒜校校地ならではのことと思っています。

### ②今後挑戦していきたいこと

新任校は在籍生徒が650人ほどで、教室に40人も生徒がいると、蒜校に慣れた私は、ちょっとビビッてしまいます(笑)。

挑戦というほどのものではありませんが、できるだけ早く生徒や同僚の先生方の顔と名前を覚えて、たくさんの人たちと対話していきたいと思えます。

### ③蒜校生へのメッセージ

蒜校は再スタートを切ろうという生徒に対して実に温かい学校です。例えていうなら世の中の風雪から守られたビニールハウスの温室で育てられているようなものです。

しかし、いくら温室でも自ら伸びようとしないとしおれてしまう作物もあるでしょう。どうかみなさんには3年間で大人になるためにしっかりと背伸びをしてほしいものです。

温室の中でも、他者に対して常に最低限の敬意を払いつつ、精一杯見栄を張って、カッコつけて、大人として振る舞ってください。頑張って背伸びやジャンプを繰り返すうちに、気がついたら素敵な大人になっていることでしょう。

またどこかで成長したみなさんに会える日を楽しみにしています。

## 金平 幸二 総括副参事

平成31年4月～令和6年3月  
（5年間のご勤務）



### ①蒜校の思い出

たくさん有り過ぎて絞れませんが、アットホームな人々と自給自足できる環境が楽しすぎました。

### ②今後挑戦していきたいこと

FIREして蒜山でスローライフ。

### ③蒜校生へのメッセージ

大難大変に逢うても動転せぬといふは、まだしきなり。

大変に逢うては歡喜踊躍して勇み進むべきなり。<葉隠>